

牧羊ひろば



待望教会 教会学校

●待望教会の沿革

待望教会は、一九四一年（昭和16年）に森山論師によって創立されました。その前身は、一九三二年（昭和7年）森山論師の召命により塩川町大字遠田にあるご自宅を開放しての宣教が始められたことによるもので、現在の会津若松市大町には一九九一年に移転し今年創立73年を迎えます。

●会津の文化背景と信仰継承

創立当初から教会学校の働きには力を入れ、子どもたちへの信仰継承も確実になされてきました。しかし、会津には大きな産業もなく観光が中心で、昨年NHK大河ドラマ「八重の桜」で一躍脚光を浴びましたが、一年の三分の一は雪に閉ざされています。また会津にある唯一の「会津大学」も昨年開学20周年を迎えたばかりです。そのため、若い人々の殆どが関東の大学に進み、そのまま就職、結婚、永住という道を辿ることが多く、益々少

子高齢化が進んでいます。昨年の敬老祝福者（75歳以上）も現住会員52名中19名にも及びます。逆に教会学校の子どもの礼拝出席は昨年7月より皆無に等しい状態で、ただクリスマスチャン家庭の子ども（小学4年）一人が午前十時半の礼拝に親と出席し、特別行事にのみ出席するのが現状です。このように「都会へ若者を送り出す教会」という道を辿らざるを得ない状況にあります。更に東日本大震災による原発の影響もあると思います。そんな中、一人の教師が「今迄は教会学校に多くの子どもたちを！という祈りを献げていましたが、今日からは、先ず一人の子どもをお送りください！という祈りをします」と言われました。神様は本当に不思議なことをなされるお方です。一人の教師の祈りに倍の恵みを与えてくださり、2名の子ども（小学3年と6歳）をCSの礼拝に送られました。このことを通して、教会学校の未来に光り輝く希望を見出すことができました。

●年間の行事

教会学校では、春と秋に「ワイワイお楽しみデー」（子どもからお年寄りまで参加できる集会）を行います。6月の「花の日」には、会津若松駅、駅前交番、消防署へ訪問し、7月は、

「夏期デー・キャンプ」を行い、12月の「子どもクリスマス」では、Ⅰ部はローソクによる燭火礼拝、Ⅱ部はクリスマス祝会です。

●子ども伝道への新たな試み

教会学校の礼拝は従来の礼拝形式ですが、特別集会では、視聴覚を多く取り入れたお話や、大きな動きのあるゲーム、野外での活動など色々と試行錯誤しながら子どもたちへの伝道に一生懸命取り組んでいます。

今年の11月に初めての試みで行われた「わくわく土ようび！」も今後続けて行きたいと願っています。また何か良い企画があれば教えてください。
(今田好二)

●夏期デー・キャンプ

毎年、夏に行うこのキャンプは、日曜日午後からの半日で行っています。昨年までは、教会内で行っていましたが、今年は会津若松から西へ約15km程の所にある会津美里町の山を切り開いて作られた「ランブリングの郷」で行いました。参加者は、子ども1名(小学4年)と教会学校の教師6名、それに教会員3名の協力を得て、施設内の散策、ゲームやハート

タイム(聖書のお話し)などの活動を行い、夕食はバーベキューをして会津の新鮮な野菜を食べながら楽しい交わりができました。最後に、近くにある温泉にひたつて、身も心もさっぱりして帰って来ました。今年のキャンプのテーマは「ホンモノの愛と救い」で、牧師からメッセージが語られ、分級の時を持って神様の愛にふれることができました。恵みの多い素晴らしいキャンプができて、とても感謝でした。

(大関みさ子)

●わくわく土ようび！

昨年の秋に初めて開催された子どもの集会です。この数ヶ月、毎日曜朝に行われているJOYふる礼拝(CS礼拝)に、スポーツクラブの為休みがちになっている生徒が何人かのお友達と土曜の午後によく教会周辺で遊んでいる様子を牧師が見守っていて、土曜のその時間帯に子どもが集まりが出来ないだろうかとCS教師会で提案され、今回試験的に開催されました。時間は午後2時～3時まで。プログラムは、①はじめの挨拶。②ゲーム(題しておやつ争奪戦)。「五文字ひら



小さな綱引き(夏期デーキャンプ)

がなビンゴ」。

③ミニボーリング大会（題してラーメン杯^{カップ}）。子どもの遊び用プラスチック製のボーリングセットを使用。足を疊んだ状態のテーブルを縦に二つ長く並べて、2レーン^{レーン}をセッティング。ピンもボールも軽いせいにかあちこちへ転がって楽しく、とても盛り上がりました。

④紙芝居+メッセージ。CSスタッフで折り紙指導もしてくださる婦人のオリジナル紙芝居「放蕩息子」とショートメッセージ。

⑤表彰式。ゲームで1〜3位になったお友達に値段別のポテチ、ミニボーリングで1〜3位にはランク別のカップラーメンが授与されました。そして、参加賞としてチョコボールが皆に一箱ずつ配られました。予定の3時を過ぎましたが、残れるお友達とティータイム。子ども達は終わってもすぐには帰らず、教会にある遊び道具で楽しく遊んでいました。久しぶりに、子ども達の笑い声、はしゃぐ声が教会に響いて、とても祝された集会となり主に感謝しました。

（高橋なおみ）



いざ！ 五文字ビンゴ（わくわく土ようび）

●ワイワイお楽しみデー

子どもたちへの伝道のために、毎年、春と秋に開催しています。昨年までは「ワイワイ子どもお楽しみデー」という名称でしたが、今年度から、教会員や求道者の大人の人も気兼ねなく参加できるようにという配慮から、「ワイワイお楽しみデー」に変更しました。昨年の秋は、11月24日（日）

午後0時30分から3時30分までの予定で開催しました。プログラムは、①開会の集い（さんび、祈り）、②ランチタイム（カップラーメン、ご飯、のり、梅干、ツナなどを用意）、③ゲームタイム（じゃんけんゲーム、割りばしを使ったビー玉リレー）、④みことばタイム（DVD鑑賞「たいせつなきみ」、その後、今田好一牧師によるお話し）、⑤終わりの集い（お菓子のすくい取り、誰もが最も真剣になる瞬間、集会案内、記念撮影）。参加者は、子ども3名、教師他大人14名。子ども3名の内2名は、11月9日の「わくわく土ようび」に導かれ、日曜日のJoyふる礼拝にも出席するようになった兄弟での参加でした。参加した子どもの数は少数でしたが、幼児から高齢の方に至る参加があり、幸いな集いとなりました。

（兼子匡司）



ぼく、優勝したよ！（ワイワイお楽しみデー）